

事務事業名	鬼怒水辺観察センター管理運営事業	担当	市民生活部 環境課（根本山）	
政策名	5 「環境づくり」～安全なまちアップ！～	施策名	28	自然環境の保護と地球温暖化対策の推進
成果指標	名称	単位	2 年度実績	
	利用者数	人	1,294	
	区域内に生息する野鳥の種数	種	約60	
	区域内に生息するチョウ、トンボの種数	種	約80	
事業概要	オオバンの池（市有地約7ha）、トンボの池（国造成、約3ha）の自然環境を保全し、鬼怒水辺観察センター（約90平方メートル）を起点に環境学習の場として活用を図るため平成14年に開所した施設。（観察センターとトンボの池は河川占用） 観察センターは、水曜、土日、祝日が閉館日で職員1名を配置し、施設管理や自然観察等利用者の対応に当たっている。			
2 年度 実績・成果・課題	【実績】トンボの池の芝地やオオバンの池の草地等の定期的な草刈り、オオバンの池の浚渫（隔年）等の保全管理を実施。自然体験教室を2回実施（根本山自然観察センター主催）。写真展示の実施。コロナ禍により団体利用が前年の12団体（553人）から5団体（187人）に、また個人利用は、1,381人から1,107人と減少。 【成果】水辺の自然環境が保全され、利用者は、環境への理解を深めている。 【課題】利用者が減少傾向にある。			
今後の方向性と 具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 効果的な情報発信や新たな魅力の発掘について検討。			